



宮前中だより

さいたま市立宮前中学校
学校通信 No. 2
平成30年5月1日(火)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

「目標を掲げて」

校長 大木 克己

新年度も早一月が過ぎました。私は着任したばかりで慌ただしい4月でしたが、宮前中学校の生活は概ね順調にスタートしました。時々、授業を参観していますが、1年生はとにかく元気という印象です。G・Sの授業でALTからインタビューを受ける場面を見ましたが「1年生のこの時期にこんなに英語が話せるの？」と感動しました。小学校からの積み重ねがあるからこそで定着率は素晴らしいものです。2年生は後輩ができた自覚からか？大変落ち着いた授業態度です。あるクラスのG・Sの会話練習に飛び込みで参加しましたが、みんなしっかりと英語で対応してくれました。3年生はもちろんしっかり授業に取り組み、また5月の修学旅行に向けて楽しそうに準備を行っています。京都・奈良の班別コースを男女が協力して作成していて、私も8年ぶりの古都への訪問を今から楽しみにしています。

さて、プロ野球の広島カープで2215試合連続出場の世界記録(当時)を樹立し、「鉄人」と呼ばれた衣笠祥雄さんが、23日に亡くなったニュースをご存知のことと思います。衣笠選手は高校卒業後、1965年広島に入団。79年にはデッドボールを受け肩甲骨を骨折したにも関わらず、翌日の試合に代打で出場、80年にはプロ野球新記録の1247試合連続出場をマークしました。87年6月には当時のアメリカ大リーグ記録だったルー・ゲーリッグの2130試合も抜いて国民栄誉賞を受賞しました。彼の背番号3は広島カープの永久欠番です。私は衣笠選手が現役当時、熱烈なファンではありませんでしたが、デッドボールを受けた後の相手投手への紳士的対応に感動したものでした。当たり所が悪ければ、選手生命を絶たれるかもしれない状況でも、彼は決して相手を威圧するような行為をしませんでした。そのような数々の記録をもつ衣笠選手でも入団当初は挫折し、目標を見失ったこともあったようですが、強い意志をもって励んだ結果、偉大な記録が生まれたのです。

今月はテストや行事が次々に行われます。体力テスト、中間テスト、体育祭、修学旅行、そして、6月2日からは学校総合体育大会が始まります。生徒のみなさんには、一つひとつの行事や大会に「目標を掲げて、一生懸命に取り組んでほしい」と思っています。テストや大会の度に「次は頑張る」というような「言い訳」をする人間になってほしくありません。「去年の記録を越える」「各教科で+5点取る」「県大会出場」など、目標を明確に掲げ、継続して取り組めば「充実感・達成感」が味わえ、たとえ成果にならなくても必ず次につなげることができるはずです。「継続は力なり」です。衣笠選手も日々の継続が大きな記録になったのです。特に3年生は、これからの学校生活全てが「中学校最後の〇〇〇」となります。悔いのないように「一生懸命」を継続して、それが来春の成果として現れるように学習、行事、大会等に取り組んでください。

宮前中は40周年を迎えます。

